

## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ あんえんたーていめんと 株式会社アンエンターテイメント	団体ウェブサイトURL	https://www.wa-league.com/
代表者職・氏名	代表取締役 高久照敏		
制作団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
電話番号	050-3624-6767		
ふりがな 公演団体名	おおくらりゅう きょうげん 大藏流狂言	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	能楽師大藏流狂言方 大藏彌右衛門		
公演団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
制作団体 設立年月	2002年10月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高久照敏 経理担当 宮田幸子	当団体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸術家および関係者 構成員の過半数以上の認可	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	三隅雄亮
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	宮田幸子

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>平成14年10月 東京都新宿区に有限会社マスウェルス設立。(資本金300万円) 平成21年3月 株式会社アンエンターテイメントに名称変更。</p> <p>日本の伝統芸能(歌舞伎、能楽、邦楽)などの国内振興および国際交流の推進に寄与することを目的として設立。世界70カ国136都市で数々の伝統芸能の公演をプロデュースしてきました。 日本の伝統文化・芸術の国内振興および国際交流に寄与することを目的として活動しています。</p> <p>国内の小・中・高校で日本の伝統芸能である能楽、狂言、和楽器等の公演・ワークショップを企画制作しております。</p>			
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>平成23年より学校公演実績あり 累計 約100公演</p> <p>(直近) 平成29年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県4カ所(自主公演) 平成30年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県、鹿児島県6カ所(自主公演) 平成31年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県、千葉県5カ所(自主公演)</p>			
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>平成28年、二階堂養護学校(天理市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。 平成29年、東大寺整枝園(奈良市)にて狂言体験ワークショップを実施。 平成28年、七条養護学校(奈良市)・帯広盲学校(北海道帯広市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。</p> <p>令和2年度 文化芸術による子供育成事業～巡回公演事業～ 山梨県立やまびこ支援学校</p> <p>令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～ 茨城県立境特別支援学校</p>			
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/7wX7TksY4Ck">https://youtu.be/7wX7TksY4Ck</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大藏流狂言 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	大藏流こども狂言		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	狂言「附子」、「柿山伏」 【プログラム構成】 1、挨拶 「狂言ってなあに？ 附子ってなあに？」 2、「附子」鑑賞ガイド(登場人物やあらすじ等を紹介) 3、「柿山伏」鑑賞ガイド(登場人物やあらすじ等を紹介) (休憩) 4、狂言をみんなで演じよう！「菌(くさびら)」の共演 5、感想発表・質問コーナー 古典作品の為にいつも作者未詳。 公演時間 90 分		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	鑑賞「附子」(20分) 主人が太郎冠者と次郎冠者に附子という毒の見張りを命じて外出する。二人はそれが実は砂糖だと知ってなめ尽くしてしまう。 鑑賞「柿山伏」(15分) 山伏が柿を盗み食いで畑の持ち主に懲らしめられるお話。		
演目選択理由	「附子」「柿山伏」とも所作・セリフ・擬音などの狂言の魅力が盛り込まれた入門編で想像力を働かせながら面白く楽しく鑑賞できる演目です。小学生低学年でも理解しやすく、小学生高学年から中学生にとっては、日本文化の様式美や形式などを学ぶ上でも適切な演目です。また長年にわたり小学校国語教科書に採録されており、教育現場でも馴染みがあり、採録教科書を使用している学校では事前事後学習に役立てていただけます。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	代表の児童・生徒20名が舞台上に上がり、狂言「菌(くさびら)」のきのこの役を演じてもらい大藏流狂言師たちと一緒に作品を作り上げます。その他の児童・生徒も鑑賞している席で礼儀作法、狂言の基本姿勢や発声を体験してもらいます。狂言についてのクイズを出題し、子どもたちといっしょに楽しみながら学びます。		
出演者	「大藏流こども狂言」 能楽師狂言方大藏流 大藏基誠 大藏教義 茂山忠三郎 小梶直人 吉田信海 富田昌美 田中惇之 上田圭輔 大藏彌太郎 上記メンバーのうち4名		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合計: 6 名	運搬	積載量: 1 t 車長: 3 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	11時40分	11時40分～12時40分	13時40分～15時20分	10分	15時20分～15時50分	15時50分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	10日	0日	10日	10日	
	11月	12月	1月	計	65日	
	10日	10日	5日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名まで
		鑑賞人数目安	10～100名

体育館舞台上に鏡板をバントで吊るします。  
舞台下手側を鏡の間に見立てから手摺を設置して能楽堂を設営。  
舞台設置に必要な面積 幅10メートル×奥行き3メートル

演目「附子」「柿山伏」の上演の様子と大藏流狂言方との共演写真。



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)



※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



## 【公演団体名 大藏流狂言 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10～200名
<p><b>ワークショップ実施形態及び内容</b></p>	<p>標準:90分 体育館のフロアに四方柱・橋掛りで仮の能舞台をつくり実施します。</p> <p>①ご挨拶(20分) 紋付袴で体育館に集まった児童生徒の前に登場します。狂言に関して基本的な知識と伝統芸能、日本文化について簡単に分かり易く説明します。狂言「盆山」の解説をしながらの実演(10分)を鑑賞していただきます。児童・生徒には図1のようにフロアで講師を中心に取り囲む座ってもらいます。</p> <p>②体験(25分) 次に体験を実施、稽古を始める前の挨拶(礼儀作法も含め)から所作(動き)や発声など指導いたします。狂言の基本姿勢と動作をこうし、補助指導者の協力もと体験してもらいます。動物の鳴き真似や擬音など演技法などを解説と実演を交えて体験してもらいます。</p> <p>(休憩)</p> <p>③狂言「菌(くさびら)」のお稽古(30分) 本公演で共演する「菌(くさびら)」のきのこの精を全員で練習します。指導者より立居振舞、声の出し方など細部にわたって稽古をし、本公演での共演に臨んでいただきます。お稽古は複数のグループに分かれて練習します。</p> <p>④発表会と感想(15分) グループごとに「菌(くさびら)」のきのこの精を発表します。ワークショップに参加しての感想や本公園へ共演することへの意気込みなどを質問していきます。</p> <p>※児童生徒には体操着など運動しやすい服装で参加していただけます。 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、参加・体験の形態を変更いたします。</p>		
<p><b>ワークショップのねらい</b></p>	<p>解説付きの鑑賞を通して、狂言への興味はもとより、約700年前の日本と現代との違い・共通点などを楽しく見つけて、歴史への興味、価値の多様性を感じていただけたらと思います。</p> <p>また観賞するだけでなく、作品を創り上げる過程を経て、演じることを体験することにより、作品作りの楽しさや大変さ、また皆で力を合わせ作り上げることの大切さを学ぶ機会にしていきたいです。</p> <p>指導者である狂言方と時間を共有する事で、日本の伝統文化が内包している様々な“価値”について、知ることができます。また日本人が大切にしてきた礼儀作法や立ち居振る舞いなども身につくきっかけになります。</p>		
<p><b>その他ワークショップに関する特記事項等</b></p>	<p>ワークショップの形態 ● 実演者      ● 児童・生徒</p>  		

リンク先	No.2	【公演団体名 大蔵流狂言 】
<p>項目演目 出演者</p>	<p>監修：大蔵彌右衛門</p>  <p>大蔵流二十五世宗家 二十四世宗家故大蔵彌右衛門の長男、父に師事。二十五世宗家を継承。 重要無形文化財総合指定保持者。(社)能楽協会 日本能楽会会員 大蔵会・大蔵狂言会主宰。</p>	<p>主要出演者プロフィール</p> <p>大蔵彌太郎（おおくら やたろう） 二十五世宗家大蔵彌太郎の長男。 祖父故二十四世宗家大蔵彌右衛門及び、父に師事。五歳の時「以呂波」にて初舞台。「末広がり」「三番三」「那須」「釣狐」を抜く。平成十年、宗家に伝わる幼名「千太郎」を襲名。平成十四年、基誠(弟)・教義(従兄弟)と共に《大蔵流若手狂言SHIN》を結成。</p> <p>大蔵基誠（おおくら もとなり） 25世大蔵彌太郎の次男で24世大蔵彌右衛門と父に師事。4歳8ヶ月で「以呂波」にて初舞台を踏み、今日までに「末広がり」「那須の語」「千歳」「三番三」「釣狐」を抜く。小・中・高に出向き狂言を楽しませる学校狂言を展開し若い世代に伝統芸能の楽しさを伝える。</p> <p>大蔵教義（おおくら のりよし） 昭和56(1981)年生まれ。2世大蔵吉次郎の長男。 第24世宗家故大蔵彌右衛門及び、父に師事。4才で『業平餅』の稚児役で初舞台を踏み、今日までに狂言における大曲・秘曲、「末広がり」「千歳」「那須」「三番三」「釣狐」を抜く。</p> <p>茂山忠三郎（しげやま ちゅうさぶろう） 昭和57年(1982)8月20日京都生。能楽師大蔵流狂言方。 茂山 忠三郎家、四世忠三郎の長男。父に師事。4歳にて『以呂波』のシテで初舞台を踏み、その後「釣狐」、「三番三」、「花子」、「狸腹鼓」など秘曲、重曲を抜く。</p>



リンク先 No.3

【公演団体名 大藏流狂言】

項目演目  
公演プログラム

れい わ ねん ど  
令和2年度

ぶん か げいじゆつ こども いく せい そう ごう じ ぎょう  
文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかい ごう えん じ ぎょう  
— 巡回公演事業 —

おお くら りゅう ぎょう げん  
大藏流狂言

きょうげん ねん よつづ  
狂言は650年余続く

でん とう かくしき えんげき  
伝統と格式のある演劇ですが

おだ のぶなが とよとみひでよし  
織田信長、豊臣秀吉

とくがわいやす たの  
徳川家康たちも楽しんだ

わら えんげき  
笑いの演劇です。

のうかく しきょうげんかた  
能楽師 狂言方  
おおくら ちとなり  
大藏基誠

鑑賞の手引

ぶん か げいじゆつ こども いく せい そう ごう じ ぎょう  
文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演ではできるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

リンク先 No.3

【公演団体名 大藏流狂言 】

項目演目  
公演プログラム

きょうげん  
狂言って？

狂言は、今から650年前に出来たお芝居です。「日常のおかしさ」を強調して演じているのが特徴の日本の伝統芸能です。現存する世界最古の演劇で、現代でいうコントであり「笑いの芸術」とも言われます。

きょうげん とうじょうじんぶつ  
狂言の登場人物は？

歴史上の有名な人や特定の人物は出てきません。登場人物の多くは、近所に住む人、地方から来たお金持ちなど、どこにでもいそうな庶民です。上司と部下、僧侶や山伏、夫婦など、だいたいの設定や肩書きが明かされますが、具体的な名前を名乗ることはありません。



のうぶたい  
能舞台って？

能楽（能と狂言）が、演じられる専用の劇場です。松の絵は、背景ではなくシンボルになります。能楽堂に描かれている松は、奈良県の春日大社にある影向（ようごう）の松です。影向とは、神様が松に降り立ったことを言います。神様である松が客席側にあり、それを鏡のように映したのが鏡板です。狂言は、つまり舞台上の役者は観客ではなく神に向かって演じているのです。

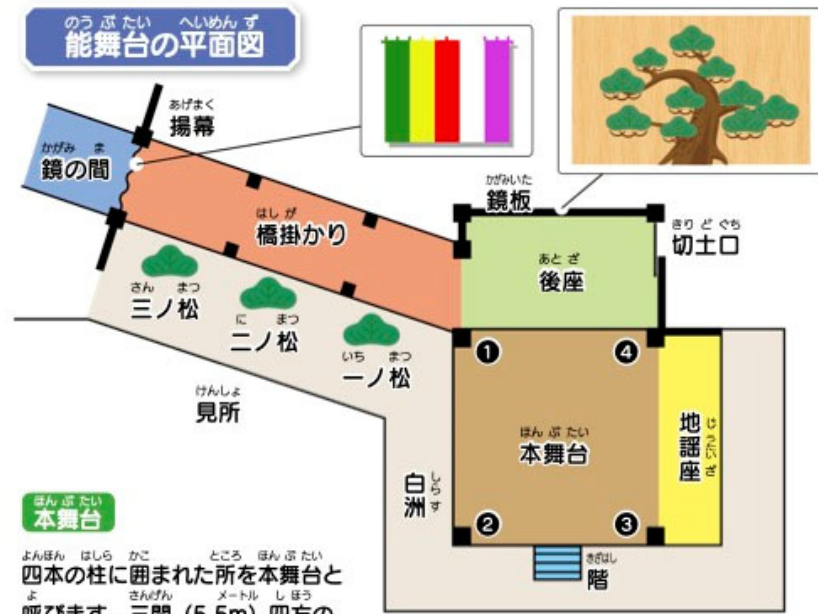




リンク先 No.3

【公演団体名 大藏流狂言 】

項目演目  
公演プログラム



**ほんぶたい 本舞台**

よんほん はしら かく ところ ほんぶたい  
四本の柱に囲まれた所を本舞台と  
よ さんげん メートル しほう  
呼びます。三間 (5.5m) 四方の  
ぶたい ひのきいた は つかした つば せつち おんぶようこうか たが  
舞台で檜板が張られています。床下には壺が設置してあり音響効果を高めています。

**かがみ いた 鏡板**

ぶたいこうほう えが まつ はいけい  
舞台後方に描かれている松の背景。

**はしら 柱**

よんほん はしら よ な しほう あらわ  
しゅん か しゅうとう とうざいなんぼく ひょうげん  
四本の柱はそれぞれの呼び名があります。四方を現しているもので、  
春夏秋冬、東西南北を表現しています。

- ① シテ柱：シテ (主役) がこの柱の近くに立っていることが多いです。
- ② 目付柱：能面をつけ視界が狭くなった演者の目印になる柱です。
- ③ ワキ柱：ワキ (主役の相手役) がこの柱のそばにすることが多いです。
- ④ 笛 柱：器楽を演奏する笛方が近くに座る柱です。

**あげまく 揚幕**

はしが はし しよく まく まく ひら きょうげんし ぶたい  
橋掛かりの端にある、5色の幕です。この幕が開き、狂言師が舞台に  
とうじょう  
登場します。

**はしが 橋掛かり**

えんじや つうろ あげまく ほんぶたい なが ろうか  
演者が入りする通路であり、揚幕から本舞台へつながる長い廊下。